

2021年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について（予告）

2021年度長崎大学入学者選抜方法の変更点は次のとおりです。

【全学部共通】

2021年度長崎大学入学者選抜から卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価することとします。

また、各々の入学者選抜としての特性をより明確にするため、入試区分を次のとおり変更します。

2020年度入学者選抜	2021年度入学者選抜
一般入試	一般選抜
AO入試Ⅰ	総合型選抜Ⅰ
AO入試Ⅱ	総合型選抜Ⅱ
推薦入試Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅰ
推薦入試Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅱ

注）「総合型選抜Ⅰ」及び「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さず、「総合型選抜Ⅱ」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課します。

1. 一般選抜

- 原則として、大学入学共通テストの5教科7科目（国語及び数学の記述式問題を含む）を課します。
- 個別学力検査に思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式問題を導入します。
- 原則として、国が出すCEFR*の段階別成績表示による対照表の水準が「A2」以上であることを出願資格^(注1)とします。また、同対照表の水準に応じて「大学入学共通テスト」の英語科目の得点に加点します。
なお、学部・学科等によっては、「個別学力検査」において、各学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、CEFRの水準に応じて加点する場合があります。
※ Common European Framework of Reference for Languages : Learning , teaching , assessment（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）
(注1) 学部・学科等によっては、「B1」以上を出願資格とする場合があります。
- 調査書を配点の対象とします^(注2)。その割合は配点合計の10%以下とします。ただし、調査書を提出できない場合は調査書に代わる書類・資料を求めることとし、その書類・資料を用いた評価を行います。
(注2) 調査書記入担当者の主観で記入する箇所は、一般選抜において配点の対象としません。
- 面接又はペーパー・インタビュー（面接に代わる筆記試験）を課します^(注3)。
(注3) 多文化社会学部は、主体性等の評価において面接（もしくはペーパー・インタビュー）を実施しない場合があります。実施しない場合は、主体性等は調査書を通じて評価を行います。

2. 総合型選抜、学校推薦型選抜

- 各学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、提出書類、小論文、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の結果等を用い、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。
なお、学校推薦型選抜においては、学校長の推薦書に記載された学習歴や活動歴を踏まえた学力の3要素も評価の資料の一部として用います。
- 大学入学共通テストの英語を課す入試区分においては、原則として、CEFRの段階別成績表示による対照表の水準「A2」以上を出願資格^(注4)とします。また、学部・学科等によっては、各学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、CEFRの水準に応じて加点する場合があります。
(注4) 学部・学科等によっては、異なる水準を出願資格とする場合があります。

※ 詳細につきましては、決まり次第、大学ホームページで公表します。